



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月27日

上場会社名 東映アニメーション株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4816 URL <http://www.toei-anim.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 勝裕
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営戦略部担当 (氏名) 吉谷 敏 (TEL) 03-5318-0639
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	23,444	18.6	5,962	34.7	6,281	36.2	4,291	25.0
29年3月期第2四半期	19,774	6.8	4,426	△13.0	4,612	△13.3	3,433	△3.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 4,526百万円(68.6%) 29年3月期第2四半期 2,685百万円(△17.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	314.54	—
29年3月期第2四半期	251.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	70,953	54,301	76.5
29年3月期	65,978	51,549	78.1

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 54,301百万円 29年3月期 51,549百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	130.00	130.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期期末配当金の内訳 特別配当100円を含んでおります。

30年3月期の期末配当金の予想値につきましては、期初段階の数値を記載しております。

30年3月期の期末配当金につきましては、P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 利益配分に関する基本方針」に基づき、連結業績等を勘案したうえで、別途検討する予定です。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	38,000	△6.7	9,100	△10.2	9,400	△9.3	6,300	△12.5	461.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	14,000,000株	29年3月期	14,000,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	358,039株	29年3月期	357,983株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	13,641,998株	29年3月期2Q	13,642,041株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスク及び不確実性を包含しております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(3) 利益配分に関する基本方針	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、当社グループでは「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」、「プリキュア」シリーズといった主力作品による収益の安定・拡大を図るとともに、事業においては中国を中心とした映像配信権の販売に加え、国内外でアプリゲーム等ゲーム化権の販売に引き続き注力しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、国内外でアプリゲーム化権や映像配信権の販売が好調に推移したことから、234億44百万円（前年同期比18.6%増）、利益については、収益性の高い版權事業や海外映像販売事業が大幅増収となったこと等から、営業利益は59億62百万円（同34.7%増）、経常利益は62億81百万円（同36.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は42億91百万円（同25.0%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります（セグメント間取引金額を含む）。
なお、セグメント損益は、営業利益ベースの数値であります。

①映像製作・販売事業

劇場アニメ部門では、3月に「映画プリキュアドリームスターズ!」、9月に「デジモンアドベンチャーtri. 第5章」を公開しました。前年同期にあった「ONE PIECE FILM GOLD」のヒットに相当するものがなかったことから、前年同期と比較して大幅な減収となりました。

テレビアニメ部門では、「ワンピース」、「デジモンユニバース アプリモンスターズ」、「キラキラ☆プリキュアアラモード」、「ドラゴンボール超」、「正解するカド」、「タイガーマスクW」の6作品を放映しました。前年同期に比べ放映本数が増えたことから、増収となりました。

コンテンツ部門では、「美少女戦士セーラームーンCrystal」のブルーレイ・DVDの売上があったものの、映像パッケージの販売が全体的に軟調に推移したことから、ほぼ横ばいとなりました。

海外映像部門では、中国向けに複数作品の映像配信権、北米向けに「ドラゴンボール」シリーズ等の映像配信権の販売が好調に稼働したことから、大幅な増収となりました。

その他部門では、定額映像配信市場の拡大もあり、国内での映像配信権の販売が好調に稼働したことから、大幅な増収となりました。

この結果、映像製作・販売事業全体では、売上高は76億67百万円（前年同期比7.2%増）となりましたが、前年同期にあった「ONE PIECE FILM GOLD」のヒットに相当するものがなかったこと等から、セグメント利益は10億10百万円（同36.0%減）と増収減益となりました。

②版權事業

国内版權部門では、アプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』が前期より更に好調に稼働したことから、大幅な増収となりました。

海外版權部門では、全世界でアプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』に加え、北米向け家庭用ゲーム『ドラゴンボール ゼノバース2』の販売も好調に推移したことから、大幅な増収となりました。

この結果、版權事業全体では、売上高は130億19百万円（前年同期比52.5%増）、セグメント利益は60億97百万円（同56.5%増）と大幅な増収増益となりました。

③商品販売事業

商品販売部門では、前年同期にあった「ONE PIECE FILM GOLD」のタイアップ・キャンペーンに相当するものがなく、大幅な減収となりました。

この結果、売上高は23億41百万円（前年同期比29.7%減）、セグメント利益は63百万円（同49.4%減）と大幅な減収減益となりました。

④その他事業

その他部門では、催事イベントやキャラクターショー等を展開しました。前年同期にあった「聖闘士星矢」の催事関連に相当するものがなかったことに加え、「ワンピース」が前年同期に比べ軟調に推移したことから、大幅な減収となりました。

この結果、売上高は5億27百万円（前年同期比42.4%減）、セグメント利益は0百万円（同99.3%減）と大幅な減収減益となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、現時点では平成29年7月28日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

(3) 利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様の利益確保を重要な経営目標の一つと考えており、中長期的な事業計画に基づく積極的な事業展開のための内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。

内部留保金につきましては、アニメーション業界のグローバル・リーディングカンパニーになるべく製作プロダクションとして製作体制の充実を図るとともに、成長が期待されるビジネス機会に積極的に投資いたします。

配当につきましては、連結業績に応じて配当性向25%程度を基本といたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,591,245	24,927,679
受取手形及び売掛金	7,804,571	10,026,270
商品及び製品	243,375	438,493
仕掛品	1,443,861	1,288,888
原材料及び貯蔵品	69,952	57,118
その他	3,772,382	3,739,615
貸倒引当金	△16,281	△24,776
流動資産合計	38,909,108	40,453,289
固定資産		
有形固定資産	7,062,714	9,458,407
無形固定資産	339,392	280,797
投資その他の資産		
投資有価証券	10,928,727	11,572,215
その他	8,875,158	9,336,135
貸倒引当金	△136,525	△147,602
投資その他の資産合計	19,667,360	20,760,748
固定資産合計	27,069,467	30,499,954
資産合計	65,978,575	70,953,244
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,530,020	9,298,656
未払法人税等	2,259,753	2,145,810
賞与引当金	282,638	325,770
その他	2,420,897	2,682,821
流動負債合計	12,493,309	14,453,059
固定負債		
役員退職慰労引当金	118,930	129,750
退職給付に係る負債	1,417,474	1,472,017
その他	399,716	596,802
固定負債合計	1,936,121	2,198,569
負債合計	14,429,430	16,651,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,867,575	2,867,575
資本剰余金	3,409,575	3,409,575
利益剰余金	44,042,513	46,560,062
自己株式	△543,829	△544,318
株主資本合計	49,775,833	52,292,893
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,613,814	2,068,161
繰延ヘッジ損益	△6,793	△3,905
為替換算調整勘定	166,289	△55,533
その他の包括利益累計額合計	1,773,311	2,008,721
純資産合計	51,549,144	54,301,615
負債純資産合計	65,978,575	70,953,244

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	19,774,767	23,444,176
売上原価	12,612,183	14,620,262
売上総利益	7,162,584	8,823,913
販売費及び一般管理費	2,736,110	2,861,717
営業利益	4,426,473	5,962,196
営業外収益		
受取利息	28,449	28,512
受取配当金	117,716	161,511
持分法による投資利益	36,483	—
為替差益	—	103,654
その他	64,198	47,318
営業外収益合計	246,848	340,997
営業外費用		
持分法による投資損失	—	892
為替差損	52,506	—
商品廃棄損	—	17,108
その他	7,919	3,828
営業外費用合計	60,425	21,829
経常利益	4,612,896	6,281,364
特別利益		
投資有価証券売却益	260,606	—
特別利益合計	260,606	—
特別損失		
減損損失	56,217	123,717
特別損失合計	56,217	123,717
税金等調整前四半期純利益	4,817,285	6,157,646
法人税、住民税及び事業税	1,504,882	1,848,870
法人税等調整額	△120,754	17,764
法人税等合計	1,384,128	1,866,635
四半期純利益	3,433,156	4,291,011
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,433,156	4,291,011

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	3,433,156	4,291,011
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△111,162	436,635
繰延ヘッジ損益	—	2,887
為替換算調整勘定	△626,336	△221,823
持分法適用会社に対する持分相当額	△10,210	17,710
その他の包括利益合計	△747,708	235,410
四半期包括利益	2,685,448	4,526,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,685,448	4,526,422
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

該当事項はありません。